

秩父保健医療圏 各団体・市町等の取組について

秩父郡市医師会	……	1頁
秩父郡市歯科医師会	……	2頁
秩父郡市薬剤師会	……	3頁
秩 父 市	……	4頁
横 瀬 町	……	5頁
皆 野 町	……	6頁
長 瀬 町	……	7頁
小 鹿 野 町	……	8頁
秩父消防本部	……	9頁
秩父福祉事務所	……	10頁
秩父保健所	……	11頁

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体名 秩父郡市医師会

平成29年度 圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだ事業

- ①秩父地域救急医療対策（休日診療所、在宅当番医制、二次救急体制、小児初期救急体制、県特殊救急医療体制）に努めている。
- ②地域健診業務（特定健診、職域健診、がん検診、学童二次検診、胸部X線読影、その他の健診業務）に努めている。
- ③ちちぶ医療協議会（ちちぶ圏域医師・医療関係者教育プログラム作成、救急医療に関する事業、予防医療に関する事業、リハビリテーションに関する事業）へ協力している。
- ④1市4町の実務者と医師会役員が会し、地域保健事業の円滑な推進と将来計画を総合的に検討し、地域住民の期待に応えるべく協議会を設置し、成果を挙げている。
- ⑤埼玉県、埼玉県医師会からの要請により2025年度問題に備え、医療と介護の連携を図るための在宅医療提供体制に向けて、秩父市と共同で事業を進めている。
- ⑥ちちぶ版地域包括ケアシステムを構築し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる地域を目指し、行政と多職種連携の上で取り組んでいる。
- ⑦将来、秩父地域の看護業務を担う人材を発掘、育成すると共に、地域内で働く看護師の後押しをしている。
- ⑧厚労省委託事業として、秩父地域産業保健センターを運営し、小規模事業所等からの相談業務、労働者へ保健指導等の事業を展開している。
- ⑨糖尿病性腎症重症化予防として、特定健診受診者に対する糖尿病早期発見、腎症の早期診断、早期治療に取り組んでいる。
- ⑩予防接種業務として、幼児から高齢者まで幅広い年齢層に対し感染症予防に努めている。
- ⑪新型インフルエンザ等発生時の対策として、県、1市4町と共同し、住民接種マニュアルの構築に向けて協力している。
- ⑫健康講演会を開催し、地域住民の健康の保持増進に努めている。
- ⑬学校医が中心となり児童生徒の健康の保持・増進に努めると共に、教職員を対象にした食物アレルギー対策の講演会の実施や運動器検診に努めている。
- ⑭発達障がい児への対策について、行政、学校と本会が一体となり取り組んでいる。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体名 秩父郡市歯科医師会

平成29年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

- ① 地域在宅歯科医療推進体制整備事業の実施、推進
 - ・「秩父郡市在宅歯科医療推進窓口」を開設、歯科衛生士の配備し相談業務、また必要に応じた歯科医師の派遣し訪問歯科診療の実施、推進
 - ・地域の病院と連携し、入院退院時を含め切れ目のない歯科医療提供を目的とした、口腔内状況の把握のため口腔アセスメント及び管理の実施、推進
 - ・歯科衛生士の確保対策の促進
- ② 休日在宅歯科診療の実施
 - ・年末年始やGW等の連休を中心に会員の輪番制で、住民の皆さんの急な歯痛等に対応すべく歯科医療を提供できる体制の整備、実施
- ③ 地域住民向けの歯科公衆衛生事業として「歯～とふる秩父」を開催し、文化講演会、8020 よい歯のコンクール、ポスター標語コンクールの表彰を行っている。
- ④ 口腔機能向上事業
 - ・疾病、認知機能の低下予防、更に健康寿命の延伸にも寄与する口腔機能の維持・向上を目的とした講習会等事業の実施
- ⑤ 1市4町の健康まつり会場における歯科健診の実施
 - ・地域住民に方に歯科健診の受けていただく機会になるよう、また健診の必要性・口腔ケアの重要性についての啓発をなるよう健診の実施
- ⑥ 地域包括ケア構築し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる地域を目指して、行政ならびに多職種との連携に取り組んでいる
- ⑦ ちちぶ医療協議会(救急医療分科会、予防医療分科会、リハビリテーション分科会)への協力
- ⑧ 障害者施設の健診ならびに職員向け口腔ケア研修会の実施
 - ・障害者入所施設利用者の歯・口の健康を向上させるとともに、施設職員の歯科口腔保健に関する知識の向上を図っている
- ⑨ 事業所健診の実施に向け、労働衛生週間「歯科医療と全身疾患の関係」について講演を行い、健診の重要性について啓蒙活動を実施

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体名 秩父郡市薬剤師会

平成29年度、圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

生活習慣病対策と在宅医療の推進

- ・生活習慣病重症化予防対策事業への参画
- ・薬剤師居宅療養管理指導の実施
- ・管理栄養士居宅療養管理指導の実施
- ・認定栄養ケア・ステーションの設置
- ・月1回 薬局窓口での健康相談、お薬相談、栄養相談
- ・地域住民向けの薬、栄養、健康についての講演と相談会開催（チャオの会）
- ・健康まつりにおいて検体測定室での血液検査の実施（Hb a1c）
- ・薬剤師と管理栄養士の連携強化、合同勉強会
- ・医療材料・衛生材料の選定と備蓄倉庫設置、運用
- ・介護支援専門員等への訪問薬剤師説明
- ・他職種との連携会の実施
- ・私の療養手帳とお薬手帳の推進
- ・在宅推進連携会議（訪問看護との交流研修会）
- ・福祉関係者、介護支援専門員等へのおくすり勉強会の開催
- ・地域ケア会議への参画

精神疾患医療と自殺予防対策の推進

- ・小中学校等における薬物乱用防止教室開催
- ・危険ドラッグ対策
- ・自殺防止対策のための店頭啓発
- ・オレンジカフェの開催

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体名 秩父市

平成 29 年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

【ちちぶ医療協議会の取組】

①二次救急輪番病院（秩父病院・秩父市立病院・皆野病院）および急変時特別入院を有する小鹿野中央病院に財政支援し、診療所医師による初期救急診療支援や医療スタッフの増員、病院勤務医の負担軽減、診療所医師との連携を推進した。また、休日及び準夜帯に二次救急輪番病院等に隣接する調剤薬局を開設するため、秩父郡市薬剤師会に財政支援し、病院スタッフの負担軽減、患者の利便性向上を図った。また、秩父郡市歯科医師会との事業委託により圏域内において、2 日以上続けて休日となる日及び年末年始に休日在宅歯科当番医開設を実施した。

②医師確保対策の一つとして、秩父圏域内の複数の病医院が協力して総合診療専門医養成プログラム「ちちぶ」を作成し、一般社団法人日本専門医機構へ提出、承認された。新たな専門医制度での専攻医受入体制を整備した。

③秩父地域での産科医療確保のため、定住自立圏の財政支援と埼玉県秩父保健医療圏医師等派遣支援事業補助金を活用し、市内の産科 1 診療所へ埼玉医科大学関連病院から週 3 回の産科医派遣と秩父市立病院から助産師 2 名の派遣を受けた。

【生活習慣病対策】

糖尿病性腎症重症化予防対策のため、糖尿病性腎症で重症化するリスクが高い方に対する保健師や栄養士の訪問等による生活指導等の事業を、秩父郡市医師会と協議しながら開始している。

【自殺対策】

定住自立圏事業として、秩父地方の関係機関で構成される「秩父地域自殺予防対策連絡会」で、自殺予防フォーラムの開催や研修会等を実施し、大切な命を守るための取組を展開しているほか、秩父市セーフコミュニティにおいての自殺予防対策委員会としての活動を通し、市民への理解を深めていただく事業を連携して実施している。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体名 横瀬町

平成29年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

○生活習慣病や疾病の早期発見・早期治療、重症化予防のための取組

(1) 特定健診・がん検診受診率向上の取組

- ・特定健診とがん検診の同時申込み・実施を行い、健診PRと受診しやすい環境づくりに努めた。また、未受診者への個別通知による受診勧奨を行った。
 - ・介護予防事業、健康まつりや講演会などイベント等での受診の呼びかけ
 - ・公的施設のトイレ内へ大腸がん検診受診を呼びかける手作りステッカーの掲示 他
- 主な検診受診率 大腸がん H28年度 6.5% → H29年度 8.3% (実施中)
胃がん H28年度 3.6% → H29年度 4.7%

(2) インセンティブを提供する取組

① わくわくポイント事業の実施

楽しみながら健康づくりへの意識づけを行うこと、また受診率や参加率向上を目的に実施。がん検診や健康診査の受診、健康増進事業への参加等により、ポイントを付与し10ポイント貯まると1,000円分の商品券と交換。

- ・ポイント交換者数（平成29年12月末現在）：60人
- ・ポイントカード発行数（平成29年12月末現在）：約900枚

② 埼玉県コバトン健康マイレージ事業への参加・実施

埼玉県と参加団体の主催事業。県民が楽しみながら継続して健康づくりに取り組むことを目的に、歩数計によって計測された歩数等に応じてポイントが付与され、当該付与されたポイントを抽選により賞品の交換等に活用する。

- ・対象者は、18歳以上。歩数計、ウェアラブル端末、スマホアプリのいずれかの方法で参加できる。
- ・申込者数（平成29年12月末現在）：212人

(3) 特定健診 診療情報提供事業の実施

昨年より対象者を広げ、横瀬町国民健康保険加入中の60歳以上74歳以下の方のうち、5年連続特定健診未受診者で平成29年度に医療機関にかかっている方に勧奨通知兼同意書を送付した。

- ・送付件数 H28年度 297件 → H29年度 355件

(4) 糖尿病性腎症重症化予防対策事業の実施

秩父郡市医師会と1市4町の連携で重症化予防事業を開始。

特定健診の結果から対象者を抽出し、個別に受診勧奨を行い、将来的な新規の透析導入者の減少を目指す。対象者 51人

○子育て支援事業の取組

(1) 子育て世代包括支援センターの実施

妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対応した総合的相談支援を提供するワンストップ拠点として保健師等の専門職を配置し、子ども及びその保護者等（妊婦を含む。）からの相談に応じるなど切れ目のない相談支援事業を実施した。

(2) こどもの心の相談事業の実施

精神的な問題や発達の問題を抱える児やその家族が、適切な解決方法を見だし、心身共に健康な生活を送れるように支援するため、専門職による相談事業を年3回実施した。

(3) 巡回相談事業の実施

教育、医療、福祉及び関係行政機関などが連携した支援体制の強化・充実を図り、子どもとその家族が地域で安心して豊かな生活が送れるよう子どもの発達・成長段階に応じた切れ目のない子育て支援を目的として保育所、幼稚園、小中学校への巡回相談を実施した。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体名 皆野町

平成29年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

【生活習慣病対策と在宅医療の推進】

◎糖尿病性腎症重症化予防に向けた取り組み

- ・特定健診からハイリスク者（指標:尿蛋白陽性・eGFR60未満かつ2年間のeGFR低下率30～40%等）を抽出し、受診勧奨。
- ・特定健診受診者に、推定塩分摂取量と塩分味覚閾値をもとに減塩指導を実施。
- ・糖尿病（含む疑い）の方の腎機能低下を早期に発見するため、秩父郡市医師会の協力のもと、75歳未満かつHbA1c6.5%以上の方へ受診勧奨（尿中アルブミン検査）する体制を整備。
- ・通院中で主治医が「保健指導の必要性を認めた者（本人同意有り）」に対し、町保健師が訪問指導を実施。その後、医療機関と町が情報共有しながら多職種で連携指導を実施。（皆野病院・秩父市立病院と連携）

◎特定健診受診率向上に向けた取り組み

～健康ポイント（みなぼ MINAPO）制度の内容の充実

- ・「特定健診を受診すること」をポイントカードの取得条件とする。
- ・友達紹介制度を新たに導入。
健診に友達（家族・知人等）を1人紹介するごとに1ポイント付与。
- ・20ポイント達成でクオカード1000円に交換 H30.1月末現在 カード発行数 734
20ポイント達成者 222

【精神疾患医療と自殺防止対策の推進】

◎自殺予防ゲートキーパー研修の開催

- ・「人との関わりがもたらす心と行動の変化」及び支援者を対象に「支援のポイント・関わり方のコツ」をテーマに年2回（3/1・3/14）開催。

【健康危機管理体制の整備充実】

- ◎新型インフルエンザ等発生時における「住民接種マニュアル」を策定
保健所の協力のもと、1市4町合同で作成する。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体名 長瀨町

平成 29 年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等(事由記載)

(1)長瀨町生活習慣病重症化予防事業

国民健康保険に加入する被保険者に対し、生活習慣病を予防するために実施。本事業を推進することで、早期治療を実施し、生活習慣病から慢性腎不全や人工透析に移行することを防ぎ、医療費の適正化につなげるものである。

特定健康診査受診者のうち、HbA1c6.5以上又は高血圧(収縮期血圧160以上、拡張期血圧100以上の者を抽出し、この中の医療未受診者及び医療中断者に対して訪問・電話で医療機関への受診を勧奨した。(対象者17名)

(2)妊婦訪問

妊娠から出産・子育てまで、切れ目のない支援の一環として、妊婦を訪問する。内容としては、健康チェック、健康相談、赤ちゃんの抱き方の練習、沐浴指導(希望者)、パートナーのための妊婦体験等である。特にハイリスク妊婦に対し重点的に実施。訪問後は事後指導の必要性について検討する。

(3)ブラッシング指導

「長瀨町歯と口の健康づくり推進条例」に基づき、町内の幼・保育園児(年少～年長児)を対象に、歯科衛生士によるブラッシング指導・エプロンシアターを実施した。生涯にわたり、自ら歯と口の疾患予防に向けた取組ができるような知識と技術を身につけることを目的とした事業である。

(4)第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)及び第3期特定健康診査等実施計画の策定
両計画とも、平成29年度に終了となるため、次期の計画を策定している。(平成30年3月に策定予定)なお、両計画は平成30年度から平成35年度までの6年計画とする予定である。なお、この二つの計画は密接に関連するため、今回は一体的に作成する予定である。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体名 小鹿野町

平成29年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

1 産科医療と小児・周産期医療の確保関連

(1) 不妊治療助成事業

① マイベイビー支援事業等

1年前から町内に在住する夫婦に対して、不妊治療（体外受精・顕微授精）に要した費用を上限額35万円まで助成している。（体外受精・顕微授精以外の治療は上限5万円）

② その他

埼玉県助成制度による早期不妊治療費・検査費助成事業による制度についても開始し、上記と合わせた不妊治療等の拡充に努めた。

2 生活習慣病対策と在宅医療の推進関連

(1) こじか筋力体操のボランティア養成及び地域の自主的運営による通いの場づくりの拡大
中高年の運動機能向上・介護予防や地域力（自助・共助）の維持向上を目的とした事業。手足に軽い重りを付けて行う6種類の簡単な体操をボランティアの協力と住民の自主的な運営により、週1回程度地域の集会所等で実施。体力測定にて効果検証を行い、その効果や有益性を確認している。また、地域の通いの場では参加者の交流や親睦が図られ、誘い合いや声かけなど安否確認等にも有効である。平成27年度に3地域、平成28年度5地域、平成29年度には5地域で新たに開始され、13地域でボランティアを含め370人以上が参加している。整理体操にちちぶお茶飲み体操も取り入れ、合わせて普及を図っている。

(2) 第4期いきいき小鹿野健康21計画及び小鹿野町食育推進計画の策定

3 精神疾患医療と自殺防止対策の推進

(1) 小鹿野町自殺対策計画の策定

誰もが自殺に追い込まれない町づくりを推進するために、計画的な事業実施を目指し上記計画を策定した。

4 健康危機管理体制の整備充実関連

(1) 高齢者見守りネットワークの推進

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせることを目指して、医療機関、地域、警察、消防、郵便局、金融機関、民生委員、ボランティア、福祉・介護関連事業者、老人クラブなどが連携して支えるための会議を年3回開催し、取組について検討・実施している。

(2) みまもりタグを活用した地域の見守り体制整備事業の拡充

平成31年3月までの3カ年の国土交通省モデル事業（全国10市町）として、認知症高齢者へのタグ所持、一般住民へのタグ所持者感知の専用アプリインストールと建物への感知器設置を推奨・促進し、対象者の位置情報の把握網の拡充を図ることにより、地域における徘徊・行方不明者の見守り体制整備に努めている。平成29年度は、町内1地区において当該地域の住民・福祉事業者・郵便局、警察等の協力を得て徘徊者探索の実証実験を実施した。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体名 秩父消防本部

平成29年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

- ① 秩父医療協議会、各分科会への参画、協力を行っている。
- ② 秩父定住自立圏事業「救急車の機能向上」により高度救命用資機材の整備を図り「人づくり」により認定救命士養成に必要な座学講習、病院実習を行う。
- ③ 埼玉医科大学総合医療センターで定期的で開催されるドクターヘリ定期検討会に定期的に参加すると共に、開催担当として検討会の進行及び秩父消防本部管内のドクターヘリ要請事案の発表を行い、ドクターヘリの効果的な運用が図れるように努める。
- ④ 一般市民、中学生、高校生及び各種団体への救急講習を積極的に行い応急手当の普及啓発による救命率の向上を目指している。
- ⑤ 秩父郡市医師会、二次救急輪番制病院（秩父病院・秩父市立病院・皆野病院）他管内病院と連携し年間の救急担当病院の割り振りの調整を行う。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体名 埼玉県秩父福祉事務所

生活に困った人に対する支援の充実と高齢社会でも安心して暮らせるための基盤整備

○ 生活保護受給者の自立支援

保護受給者の自立を図るため、就労支援を進め、延べ 52 人中 28 人が新規就労した。
(内延べ 7 人中 6 人が精神障害者)

	秩父郡 4 町		秩父市	
	H29. 4	H29. 12	H29. 4	H29. 12
保護世帯	2 1 2 世帯	2 1 5 世帯	5 3 7 世帯	5 5 1 世帯
保護人員	2 8 5 人	3 0 3 人	6 9 9 人	7 1 0 人

高齢者世帯	母子世帯	障害者世帯	傷病者世帯	その他世帯
40.6%	6.1%	18.9%	13.7%	20.8%



○ 生活困窮者自立支援制度の円滑な実施

生活保護に至る前での生活困窮に対する相談等を行うとともに、さらなる制度周知を図るため、名刺サイズのチラシを作成し、配布した。(1,000 枚)

新規相談件数	秩父郡 4 町	秩父市
H29. 4~12	18.4 (61)	10.4 (58)

※人口 10 万人あたりの件数、() は実件数。

「くらし」や「仕事」 不安やお困りの方
相談無料 生活の困りごとを
ご相談ください
電話：0494-62-6565
ひとりで抱え込まず
まずはご相談ください

困りごとの解決と一緒に取り組みます

生活 借金や支払が多くて生活が苦しい **仕事** なかなか仕事が見つからない
健康 治療や入院などで今後の生活が心配 **家族** ひきこもりの家族のことが心配...

飯沼町、皆野町、長瀬町、小鹿野町にお住まいの方へ

アスポーツ相談支援センター

受付時間：午前 8 時 30 分～午後 5 時 月～金曜日 (祝日・年末年始除く)
FAX：0494-63-1577 メール：jlrtsu-mina@mopera.net

○ 特別養護老人ホームの整備

県高齢者支援計画で見込んでいた平成 31 年度までの整備目標を達成した。

施設数	平成 28 年度	平成 29 年度		合計
		新規 2 施設	増床 1 施設	
施設数	1 3 施設	新規 2 施設	増床 1 施設	1 5 施設
定員	8 5 7 人	8 9 人	2 0 人	9 8 6 人

- ・平成 29 年 5 月 1 日 白砂恵慈園永田屋 (秩父市永田町) 2 9 人
- ・平成 29 年 9 月 1 日 特別養護老人ホーム杏子苑 (秩父市寺尾) 2 0 人 増床
- ・平成 30 年 2 月 1 日 特別養護老人ホーム愛宕の杜 (秩父市大野原) 6 0 人

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体名 埼玉県秩父保健所

平成29年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

■多職種連携と在宅医療の推進

- ・ちちぶ圏域ケア連携会議や秩父専門職連携推進会議に参加し、関係団体等との連携及び協働を図った。

■自殺防止対策と自死遺族ケアを推進した。

- ・秩父地域自殺予防対策連絡会として、普及啓発を図った。（自殺予防フォーラムを実施し、多重債務相談も含めた相談窓口一覧を参加者に配布。研修会及び自殺予防対策連絡会で「秩父地域の自殺者の状況」について報告。3/20 予定）
- ・精神科救急担当者会議を開催し、自殺未遂者への対応について、消防・警察・病院・市町・保健所の連携を再確認した。
- ・自死遺族の集いを3回開催した。

■薬物乱用防止の普及啓発及び研修会を開催した。

- ・薬物乱用防止指導員協議会と連携し、薬物乱用防止キャンペーンを実施。
- ・薬物乱用防止指導員協議会所属の指導員に対して研修会を開催し、指導員の地域における薬物乱用防止普及のための知識向上を図った。

■医療機器依存度の高い災害時要援護者対策等

- ・難病で在宅人工呼吸器使用者に対し、関係機関と協力し災害時個別支援計画(更新)作成。
- ・各市町の避難行動要支援者対策について、一覧にまとめ秩父地域危機対策協議会で提示。

■SARSや新型インフルエンザなど広域的脅威となる重大感染症対策の推進

- ・平成29年度の管内感染症業務緊急連絡網を作成し関係機関に配布した。
- ・管内新型インフルエンザ等対策推進会議(9/27)を開催し、地域医療体制の整備等について協議した。
- ・新型インフルエンザ患者発生を想定した情報伝達訓練(11/7)及び患者搬送訓練(11/14)を実施した。
- ・医療従事者の確保や実施方法等を定めた「新型インフルエンザ等発生時における秩父地域住民接種マニュアルを作成(1/31)した。